

# 第1章 総則

## 1. 適用の範囲

この指針は、風に対する足場の安全性を確保するため、足場に作用する風荷重の算定方法、足場の強度の検討方法、足場の施工方法等について適用するものとする。

本指針は風荷重に対する足場の安全性を確保するため、足場に作用する風荷重について実験等も含めた検討を行い、風荷重の算出方法、足場の強度検討方法及び施工上の注意事項について規定したものである。

また、足場の組み立てに関しては、労働安全衛生規則に規定がなされているので、本指針では風荷重が作用するときに考慮しなければならない点を示した。

## 2. 風荷重に対する設計

足場は第2章に示す風荷重に対し、第3章に示す強度の検討を行ない、十分安全であるように設計し組み立てるものとする。

上記の主旨に基づき、建築工事現場等において、鋼管足場等を組み立てて使用する場合には本指針に示す風荷重に対し、十分な安全性を確保しなければならない。